

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 名古屋市立鳴海小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒458-0015

名古屋市緑区鳴海町字矢切98番地

E-mail narumi-e@nagoya-c.ed.jp

Website http://www.narumi-e.nagoya-c.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 327名 女子 336名 合計 663名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

### (1) 活動の概要

本校では、地域住民の人と学校行事や学年行事を中心に、様々な交流を行っている。特に鳴海絞の歴史と技法を学ぶ活動や地域の歴史を学ぶ活動については、毎年力を入れて取り組んできた。

そこで、地域の文化・産業・歴史等に関する教育と地域の人との交流をより関わらせ、鳴海絞と地域の歴史を「地域遺産学習」、地域の環境美化を「環境学習」として、学習活動計画を再構築することで、持続可能な発展のための教育(ESD)を推進していくことにした。

#### ① 環境学習に関わる取り組み

名古屋市の「環境デーなごやトライ&アクション」の一環として、「鳴海小クリーンキャンペーン」を児童だけでなく、保護者や学区の人と協力して行った。今年度は、学校の敷地内や通学路だけでなく、学区内の公園や川沿いの歩道なども清掃することにした。

初めに、区政協力委員長の挨拶と児童会美化委員会からのクリーンキャンペーンの趣旨説明を行った。その後、各学級に分かれて、それぞれの掃除区域に向かった。低学年は主に校内の清掃、高学年は通学路や公園、扇川沿いの歩道の清掃を中心に取り組んだ。校内の清掃に取り組んだ低学年の児童は、保護者や地域の人と一緒に落ち葉拾いや草取りに取り組んだ。児童の力だけではきれいにできない部分を、保護者や地域の人を借り

てきれいにする事ができた。地域の方が袋の口を持ち、児童が集めた落ち葉を袋に入れるなど、和気あいあいと清掃する姿が見られた。また、地域の人から「きれいになったね」と声を掛けられたことで、児童たちは達成感も味わう事ができた。

校外の清掃に出かけた高学年の児童は、道路や公園でゴミを見つけると進んで拾う事ができた。また、予想していたよりもゴミが少なく、自分たちの街がきれいなことに気付くとともに、このきれいな環境を守っていききたいという気持ちが大きくなっていったようである。

清掃後、児童は、「きれいだと思っていたところにもゴミが落ちていていやな気持ちになった」「私たちの街は予想していたよりもきれいだと思った」など感想を発表する事ができた。

## ② 地域遺産学習に関わる取り組み

児童が学区の鳴海絞り店に出かけ、Tシャツやバンダナ、陣羽織の絞りと染めを行った。職人の方の指導の下、鳴海絞りの様々な技法を教えたいただき、児童は思い思いの作品づくりに取りかかった。染め上がった作品を広げるときには「わあ！きれい」と完成品に感動する声も上がっていた。同じ図案でも、一枚一枚の出来上がりが違う絞り染めの魅力や難しさに気付く事ができた。

完成したTシャツやバンダナは、校外学習や5年生での中津川野外学習のときに学年や学級で揃えて着用することで、団結力を高めることにもつながった。運動会では、自分たちが作った陣羽織を着て学年演技や全校演技をしたり、応援合戦に取り組んだりして、盛り上げることができた。全校演技では、地域のダンスチームや保護者と一緒に踊り、交流を深めることもでき、大変好評であった。

6年生の児童は、保護者と一緒にハンカチの絞り体験を行った。出来上がったハンカチを使って、卒業式に身に付けるコサージュに仕上げた。ハンカチのデザインは、卒業式の服装などに合うように、保護者と相談して色や絞り模様を考えて作った。また、卒業式の会場を飾る、長さ20mの横断幕を鳴海絞りで作った。そこには保護者一人一人からのメッセージが書き込まれ、児童たちは、地域の伝統工芸に見守られながら卒業していき、感動を呼んだ。



環境学習に関わる取り組み



地域遺産学習に関わる取り組み

(2) 活動の詳細

①活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ハンカチ、バンダナなど
-------------

- ① ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間で行うように各学年の教育課程の中に組み込んでいる。

- ② 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

各学年ごとに行う内容を決めておき、年度当初に計画の中に入れることができるようにしている。

- ③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

環境学習は地域の方も一緒に取り組んでおり、このまま続けていきたいと好評である。

鳴海絞りと地域の歴史を学ぶ「地域遺産学習」では、鳴海絞り体験を通して、地域に受け継がれている伝統工芸に触れ、伝えていくことの大切さを知ることができた。

これまでは、鳴海絞りを中心とした実践を行ってきたが、お世話になっている方々の事情もあり、同様の内容での継続が難しくなっている。今後は、鳴海絞りだけに頼らずに、本プロジェクトを続けていく方法について検討していきたい。

- ④ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ユネスコクール活動事例集にて報告出版前のため得られた効果はまだ不明。

- ⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

鳴海小学校学区見守り隊、鳴海商工会猩々などと環境学習、運動会の際に触れ合うことができた。

- ⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特になし

- ⑦ ユネスコス쿨の活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

古くから伝わる鳴海絞りについて身近に感じ、鳴海宿に対する思い入れが深まった。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

・ 環境学習としての地域の清掃活動  
・ 4年生、6年生、鳴海絞りクラブによる鳴海絞体験の2つの分野を中心として、活動する予定。